

発泡容器 / 発泡バリア容器向けポリプロピレン

開発ステージ

構想・探索

開発中

開発完了

製品化完了

キーワード

減量化

食品ロス削減

ユニバーサル
デザイン

用途

レンジアップ対応食品容器 / 弁当・惣菜等のバリア容器

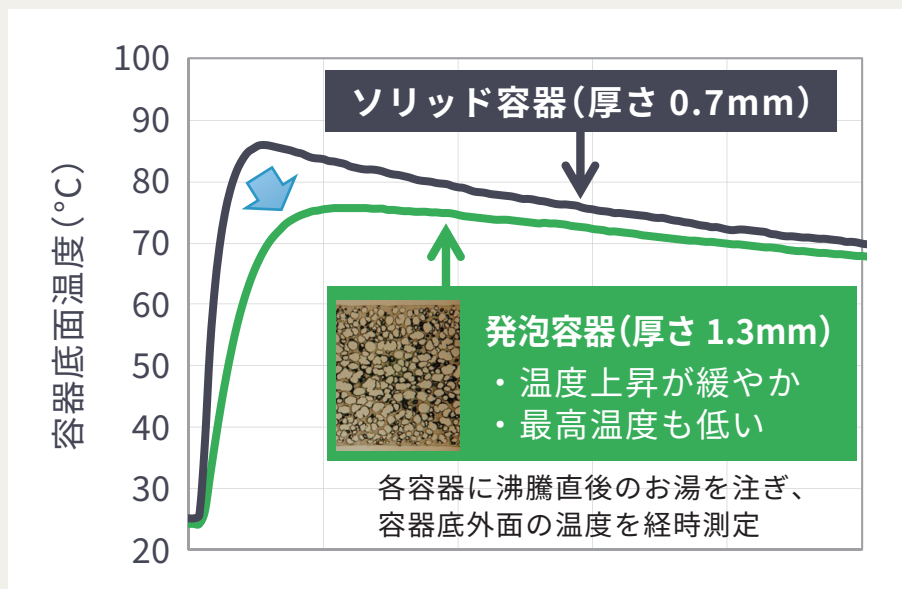
背景

環境負荷低減、食品ロスへの対応、小さなお子様や高齢者でも使いやすい食品容器が求められている

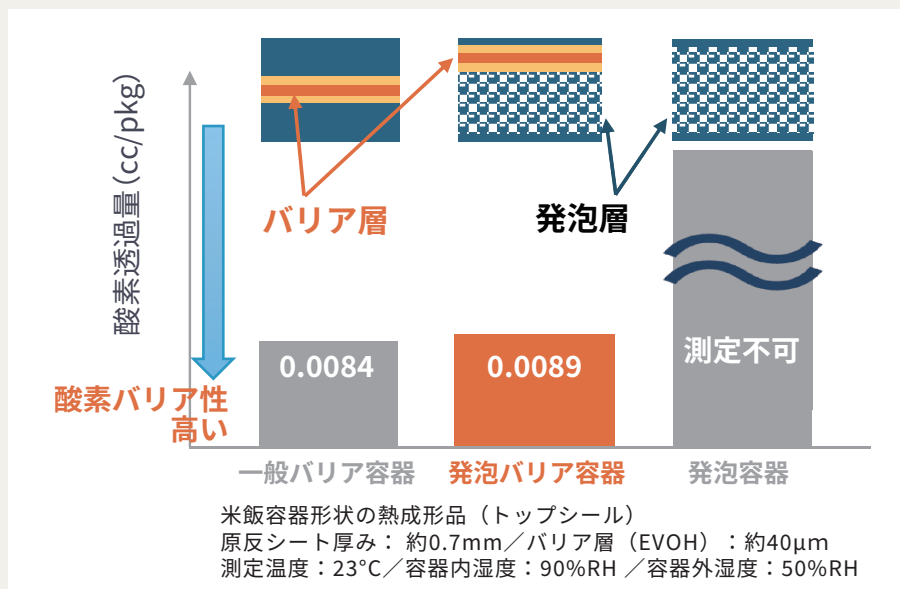


- 発泡による軽量化で、プラスチック使用量削減が可能
- 断熱性向上により、レンジアップ後の“アチッ!”を軽減
- 酸素バリア層による食品ライフ延長
- 押出發泡シート成形に適したポリプロピレン「WAYMAX™」を使用

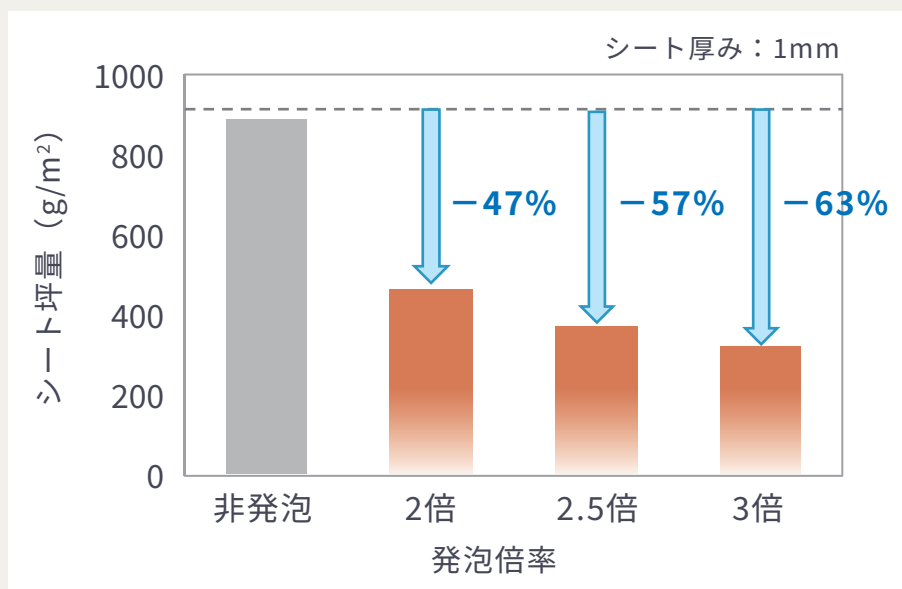
発泡容器の断熱性



発泡バリア容器の酸素バリア性



軽量化例(発泡バリア)



WAYMAX™ グレード

		EX4000
MFR(230°C)	g/10min	6.0
溶融張力(230°C)	g	5
引張弾性率	MPa	1,650
シャルピー衝撃強度(23°C)	kJ/m²	9

お問い合わせ | 日本ポリプロ株式会社

免責事項 本資料に記載された試験結果、技術情報、推奨事項等は、弊社が蓄積した経験および実験室データに基づいて作成したもので、異なった条件下で使用される製品にそのまま適用できるとは限りません。従いまして、お客様の製品、使用条件にそのまま適用できることを保証するものではなく、それらの活用に関してはお客様で責任を持って判断する必要があります。弊社はいかなる場合においても、本製品を単独または他の製品と組み合わせて使用した場合の、製品への適合性及び本書に記載された用途における市場性と安全性については保証しません。